

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2007-145619
(P2007-145619A)

(43) 公開日 平成19年6月14日(2007.6.14)

(51) Int. Cl.

C05F 9/00 (2006.01)

F 1

C05F 9/00

テーマコード(参考)

4H061

審査請求有 請求項の数 2 OL (全 8 頁)

(21) 出願番号 特願2005-339801 (P2005-339801)
(22) 出願日 平成17年11月25日(2005.11.25)

(71) 出願人 598096991
学校法人東京農業大学
東京都世田谷区桜丘1丁目1番1号
(74) 代理人 100066717
弁理士 渋谷 理
(72) 発明者 後藤 逸男
神奈川県川崎市麻生区王禅寺西 3丁目1番22号
(72) 発明者 稲垣 開生
東京都世田谷区砧1丁目25番13号すぎきハイム202
Fターム(参考) 4H061 AA01 CC55 GG18 GG19 GG21
GG25 GG55 LL26

(54) 【発明の名称】 生ごみリサイクル有機質肥料

(57) 【要約】

【課題】 生ごみのみを原料とするリサイクル有機質肥料の提供。

【解決手段】 化学肥料などの添加物を一切混合せず、生ごみのみを原料として、これを加熱、乾燥し、搾油機などにより油脂分が10%以下となるように脱脂することにより、堆肥化処理を施すことなく、かつ短時間に肥効調節が可能な有機質肥料として使用し得るリサイクル肥料を提供する。

更に、生ごみのみを原料として、これを加熱、乾燥し、搾油機などにより油脂分が10%以下となるように脱脂したものを成型することにより更に優れた肥効調節が可能な有機質肥料として使用し得るリサイクル肥料を提供する。

【選択図】 図1

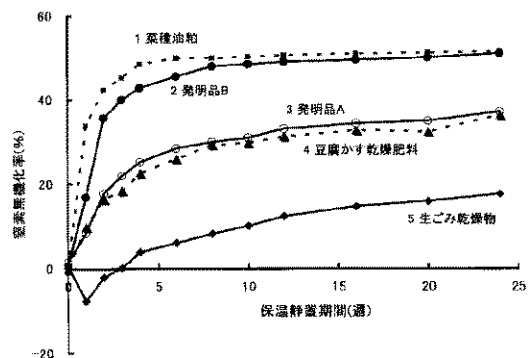


図1 発明品の土壌中での窒素無機化パターン(1)